

# CFP<sup>®</sup>公開セミナー

～合格者が語る、6課目1発合格の秘訣～

# **TAC**

CFP<sup>®</sup>、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER<sup>®</sup>、サーティファイド ファイナンシャル プランナー<sup>®</sup>は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd. (FPSB) の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

## CFP全課目一括合格のためのオリジナル勉強法 ～「時間勝負+4択」を攻略する

### 1. 試験概要

#### (1) 日程

CFP試験は、毎年2回（6月と11月の第2・第3日曜日）実施されます。

AFP試験（2級FP技能検定）とは異なり、隔週2日間による6分野の課目別試験で、課目ごとに合格が認められます。

| 第1日目：平成28年6月12日（日）        |             |
|---------------------------|-------------|
| ① 金融資産運用設計                | 9：30～11：30  |
| ② 不動産運用設計                 | 12：30～14：30 |
| ③ ライフプランニング・リタイアメントプランニング | 15：30～17：30 |

| 第2日目：平成28年6月18日（日） |             |
|--------------------|-------------|
| ① リスクと保険           | 9：30～11：30  |
| ② タックスプランニング       | 12：30～14：30 |
| ③ 相続・事業承継設計        | 15：30～17：30 |

※試験問題の法令基準：平成27年4月1日の時点ですでに施行（法令の効力発行）されているものを基準とします。

※試験の実施日程等をご自身で試験実施団体ホームページまたは受験願書等でご確認ください。

#### (2) 試験形式

試験形式は各課目ともすべて四肢択一のマークシート方式で50問出題。

#### (3) 合格率データ

平成26年第1回試験から課目別合格ラインを公表している。

## 2. 6 課目全課目合格とは

(過去 11 回の合格者平均)

- ・ 1 回の試験で 18 人 << 47 都道府県
- ・ 挑戦者の 8%
- ・ 達成者の 3%
- ・ 全受験者の 0.3%

|       | 6 課目一括 |       |       | 全課目<br>達成者 | 一括<br>比率 | 全<br>受験者 | 一括<br>比率 |
|-------|--------|-------|-------|------------|----------|----------|----------|
|       | 合格者    | 挑戦者   | 合格率   |            |          |          |          |
| H22.1 | 20     | 276   | 7.2%  | 598        | 3.3%     | 7,625    | 0.3%     |
| H22.2 | 25     | 280   | 8.9%  | 649        | 3.9%     | 8,003    | 0.3%     |
| H23.1 | 18     | 284   | 6.3%  | 608        | 3.0%     | 7,768    | 0.2%     |
| H23.2 | 10     | 198   | 5.1%  | 610        | 1.6%     | 7,134    | 0.1%     |
| H24.1 | 22     | 216   | 10.2% | 540        | 4.1%     | 6,577    | 0.3%     |
| H24.2 | 16     | 184   | 8.7%  | 582        | 2.7%     | 6,163    | 0.3%     |
| H25.1 | 18     | 197   | 9.1%  | 458        | 3.9%     | 6,007    | 0.3%     |
| H25.2 | 12     | 189   | 6.3%  | 531        | 2.3%     | 5,763    | 0.2%     |
| H26.1 | 21     | 201   | 10.4% | 485        | 4.3%     | 5,770    | 0.4%     |
| H26.2 | 12     | 171   | 7.0%  | 494        | 2.4%     | 5,722    | 0.2%     |
| H27.1 | 25     | 202   | 12.4% | 467        | 5.4%     | 5,987    | 0.4%     |
| 計     | 199    | 2,398 | 8.3%  | 6,022      | 3.3%     | 72,519   | 0.3%     |
| 平均    | 18     | 218   | 8.3%  | 547        | 3.3%     | 6,593    | 0.3%     |

(F P 協会HPより作成)

⇒” 一見” 難易度は高い

ただし・・・課目毎では 3 分の 1 が合格

四択で 6 割程度の得点で合格

⇒努力と工夫で達成可能？ = 可能！！

⇒価値は高い 仕事ができる？ 信用度が高まる？ 少なくとも、自信になる！！

－ 1 回しかチャンスがない。

## 2. 心構え － 6 課目全課目合格の必要条件

(1) 6 課目全課目受験すること。

- ・ 6 課目全課目勉強し続けること。＝絶対に課目数を絞らないこと、誘惑に負けないこと。

★6 課目全課目勉強すると、最低 4 課目は合格する。4 課目に絞ると、3 課目しか合格しない。

★おいしくない方から食べる (苦手科目の得点アップ) と、残りはおいしく食べられる。

⇒とにかく、アグレッシブに！

⇒仕事等は言い訳にしない、むしろ、仕事等は学習開始前より必死でやる覚悟で。

(2) Time > Money

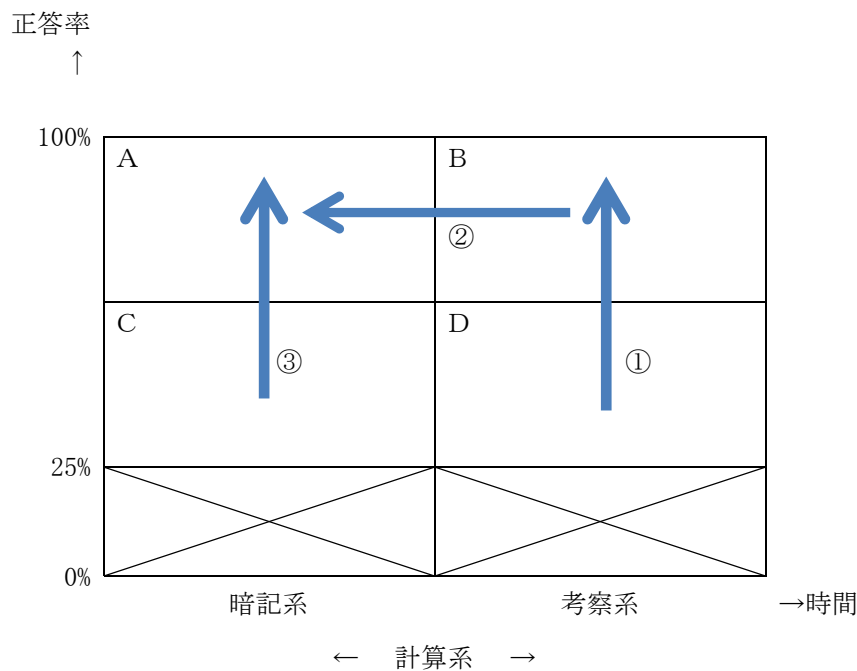
- ・ 買う or Not 迷ったら買う (迷っている時間が無駄⇒試験中も)

### 3. 学習環境の整備

- ・朝の活用は必須（通勤時間は当然として、プラス $\alpha$ ）
  - ー出勤前やTAC授業前に立寄れる、早朝から営業しているカフェを見つける
- ・TACの自習室の活用 ⇒授業後は閉館ギリギリまで、平日も極力立ち寄る
- ・精神的にリラックスする時間を

### 4. 学習の基本的な考え方

ーどこの学習（トレーニング）をしているかを明確に



◎全てAに向かうために勉強する。

①D→B 基礎期に最も時間をかけて理解を深める。直前でDは無視する。

②B→A 一定の理解が進んだ段階で最も時間をかける。

③C→A 基礎期に最も時間をかけて理解を深める。直前でCは「試験当日」頭に入れる。

★Aに時間をかける余裕はない。

★D→Cの学習はありえない（ただし、試験本番は、DをCに変換する）。

★正答率 25%未満にはならない。

### 5. 授業と学習

- ・同じ授業に極力2回出席&質問（平日夜は最後の30分だけでもよい）
- ・マーカーを引くよう指示があった時は、授業では「鉛筆（シャーペン）」で
  - ーマーカーは問題を解いて間違えた箇所のみ（たまたま正解だったときは赤ボールペンで下線）
  - ー追加情報は全てテキストに書き込み、試験当日はこれだけを持参することを念頭に
- ・講義後は、極力その日のうち、遅くとも次の講義までには学習範囲の問題を全問解く

《最低限やること》

【基礎】 授業 → 章末問題を解く → うち、間違えた問題を解く → 次の授業

【応用】 授業 → 間違えた問題、やらなかった問題を解く  
→ うち、間違えた問題を解く → 次の授業

《+αでやること》

- ・暗記より理解 ⇒間違ってもいいから自分なりの理解（+その後、遊び心で語呂合わせも）
- ・計算は「いかに『早く&適当な』解答を出すか」に向け「①頭 ②電卓 ③選択肢のフル活用」を  
[補足] ①計算の意味を理解する  
②電卓は最高級のもの（使い心地のよいもの）を購入するとよい ⇒使いたくなる  
③違う設問で選択肢間の関係もチェック

## 6. 過去問

- ・6課目×過去3回分×1回（＝18回＝36時間） これ以上解く時間はないし、これで十分
- ★できる問題（上記「A」問題）を何度も解いている余裕はない！  
⇒過去問題集は買ったものに、そのまま書き込む（コピーは時間の無駄）。
- ・間違えた問題の完璧な理解と、解く手順の検討・確認を。

## 7. 模試等

- ・必ず受ける。必ず解き直しをする。
- ・模試替わりに1級学科を受験 ⇒試験本番の雰囲気+違う切り口での出題に戸惑わない訓練

## 8. 試験前日の必勝法

- ・下見、試験会場以外のトイレ確保
- ・試験当日の休憩時間、どこをチェックするか確認（C→A）

## 9. 試験当日の必勝法

### ＜全体の考え方＞

- ・まずは50問最後までたどり着くこと（約8割、60～80分）＝合格最低ライン分を解答  
ー時間のかかる問題（得意不得意関わらず、解答に概ね2分以上かかるもの）は後回し  
ー悩んでもわからない問題は勇気をもってすぐ決断  
⇒4分の1以上の確率で当たる ⇒時間が余ったときに熟考（理論的に詰める）
- ・残りの約2割を30～50分で合格確実ラインの確保
- ・全問マークした後 ①照合 ②「正しいもの」「誤っているもの」チェック

＜課目別＞ ～次の問題は見た瞬間飛ばすようにしていた

- ・金融 : 外貨建
- ・不動産 : 事業収支、等価交換
- ・ライフ : 複雑な係数
- ・リスク : 約款読み取りによる受取保険金額の有利不利
- ・TAX : 所得税（⇒後ろの法人税関係から解く）
- ・相続 : 相続税額計算

## 10. その他

- ・次の資格にチャレンジ  
→知識が定着しているうちに、関連する資格を学習することで合格率が高くなる

＜例えば・・・＞

- ・金融関連・・・・・・証券外務員（１種・２種）、証券アナリスト
- ・不動産・・・・・・宅建、マンション管理士、管理業務
- ・ライフ・・・・・・年金アドバイザー（３級・２級）、社会保険労務士
- ・タックス・・・・・・税理士
- ・相続事業・・・・・・相続アドバイザー、税理士

## 11. CFPを目指す皆様へ

- ・１つも落とさない。
- ・家族らへの感謝。

以 上

#### 【最後に】

現在のCFP試験の出題傾向を考えると、知識の差だけではなく技術の差が大きく合否に影響します。結果として、一昔前のような独学による試験対策は時間的に遠回りになってしまう可能性が高いと考えられます。CFP講座を活用した効率的な対策によって、短期合格を獲得いただければ幸いです。



**TAC**